

都市直下型地震の恐ろしさを見せつけた 阪神・淡路大震災（1995年1月17日）

この日の午前5時46分、淡路島北部の地下16kmを震源とするマグニチュード7.3の兵庫県南部地震が発生。阪神間と淡路島北部を直撃しました。観測史上初の震度7という激しい揺れのため、ビルや家屋が一瞬の内に倒壊し、電気、ガス、水道、電話などのライフラインはことごとくストップ。高速道路は横倒しになり、鉄道の高架も倒壊して被災地へのアクセスは遮断され、都市機能がマヒしました。

また、地震直後から発生した火災で、神戸市の長田・須磨・兵庫・灘の各区を中心に65ヘクタール以上が焼失しました。

さらに、液状化現象によって地盤沈下や港湾の崩壊などの被害がさらに拡大。海外からも救助隊が駆けつけるほどの惨状でした。

この多くの犠牲者を出した戦後最大の地震災害は「阪神・淡路大震災」と称されることとなりました。

（各地の震度）



名称：平成7年(1995年)兵庫県南部地震

発生日時：平成7年1月17日(火)5時46分

震源：兵庫県淡路島北部

北緯 34度36分

東経 135度02分

震源深さ：16km

地震規模：マグニチュード7.3

最大震度：震度7

（震度7の分布）

神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市、

北淡町、一宮町、津名町の一部



○被害の様子



阪神高速道路の倒壊



鉄道高架の倒壊



雑居ビルの倒壊



転落寸前の観光バス

○被害状況

人的被害	死者数：6,434人、行方不明者数：3人、負傷者数：43,792人
建物被害	全壊：104,906棟、半壊：144,274棟、一部破損：390,506棟
火災	発生件数293件（焼失棟数：7,574棟、焼失面積：835,858㎡）
ライフライン	電気：約260万戸 停電 ガス：約86万戸 供給停止 水道：約130万戸 断水 電話：約30万回線超 不通

出典：阪神・淡路大震災について（確定報）（H18.5.19 消防庁）

○停電の復旧状況

